



福島医発第239号(地)

平成22年4月24日

各医師会長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 横 倉 義 武
(公印省略)

「平成22年度レセプト調査」について

本年4月に診療報酬改定が実施されたことに伴い、今改定が医療再生、医業経営に与える影響を把握し、今後の対応を検討することを目的として、日本医師会において標記調査が行われる旨、別添のとおり協力依頼が参りました。

そこで、4月22日開催の全会第2回全理事会において協議の結果、本調査に協力することとなりました。

本調査は、別添資料の調査実施要綱にありますとおり、日本医師会A1会員から診療所・病院それぞれ都道府県ごとに20分の1を無作為に抽出した医療機関を対象とし、平成21年度と平成22年度の4月から6月診療分の診療報酬改定前後のレセプト情報(件数、日数、点数)などを別添の「調査票」により毎月FAXにて報告するものであります。

つきましては、貴会におかれましても本調査の趣旨を十分に御理解いただき、貴会会員から照会等ありましたら、ご協力いただきますようご高配方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

医療保険担当理事 山下拓郎
会長 蒲池 壽



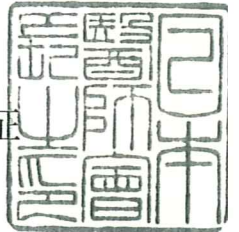
日医発第43号(総医1)

平成22年4月20日

都道府県医師会長 殿

日本医師会

会長 原 中 勝 征



「平成22年度レセプト調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より本会会務運営にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今般、平成22年度診療報酬改定の影響を検証するために、本会では標記の「レセプト調査」を実施することといたしました。

平成22年度の診療報酬改定は、全体で+0.19%であり、平成12年度以来のプラス改定になりました。医科は+1.74%、うち入院+3.03%、外来+0.31%でした。入院においては、「救急、産科、小児、外科等の医療の再建」、「病院勤務医の負担の軽減」を重点課題として、診療報酬の配分が行われました。外来については、病院と診療所の再診料が統一されたほか、外来管理加算の5分要件が廃止されるなどしました。

本調査は、このような診療報酬改定が、医療再生、医業経営に与える影響を把握し、今後の診療報酬改定のための重要な基礎資料とすることを目的に実施させていただくものです。

具体的な調査の内容は、添付資料の調査実施要綱にあるとおり、日本医師会A1会員から診療所・病院それぞれ都道府県ごとに1/20を無作為抽出した医療機関を対象とし、平成21年と平成22年の4月、5月、6月診療分の診療報酬改定前後のレセプト情報（件数、日数、点数）などを別添の「調査票」にご記入のうえ、FAXで、毎月お送りいただくというものです（4月診療分の返信の際、「基本情報シート」の返信も併せて必要となります）。



つきましては、貴会におかれましても、本調査の趣旨を十分にご理解いただき、調査対象となった医療機関から照会がありました場合には、ご協力が得られますようご尽力いただければ幸いです。

なお、本調査にご協力いただきました個々の医療機関名、個別のデータにつきましては、一切公表いたしませんし、データの取扱いについては万全を期すことを申し添えます。

敬 具

(添付資料)

1. 「レセプト調査」実施要綱

2. 調査客体医療機関宛送付資料

- (1) 「平成22年度レセプト調査」へのご協力のお願い
- (2) 日本医師会 平成22年度レセプト調査 ご記入およびご返送にあたってのお願い

(3) 診療所送付分

基本情報シート（診療所用）

日医レセプト調査用 都道府県コード番号対応表

調査票（診療所用）

昨年（平成21年）診療分（4月、5月、6月診療分）

本年（平成22年）診療分（4月、5月、6月診療分）

(4) 病院送付分

基本情報シート（病院用）

日医レセプト調査用 都道府県コード番号対応表

調査票（病院用）

昨年（平成21年）診療分（4月、5月、6月診療分）

本年（平成22年）診療分（4月、5月、6月診療分）

「レセプト調査」実施要綱

1. 調査の目的

平成22年度診療報酬改定の結果を検証するとともに、次回改定にむけての重点課題を抽出する。

2. 調査の内容

診療所および病院について、施設の概要、診療報酬請求状況の調査を行う

3. 調査の対象、客体および抽出方法

- 日本医師会員のうち、調査時点での日本医師会を対象とする。
- 調査客体は、調査対象から都道府県別に1/20を無作為抽出したもの。
- 抽出されたA1会員が複数医療施設を経営している場合は複数回答。
- ORCA定点調査研究事業に参加しているA1会員を除く。
- ORCA定点調査研究事業に参加していない日レセユーザーのA1会員を含む。なお、同会員は専用の帳票プログラムを用いて簡便に回答できる。

(参考) 平成21年12月1日現在の会員数等

	A1会員	対象数 (1/20)	平成20年度 調査対象数
診療所	76,635	3,832	3,862
病 院	6,939	347	367

4. 調査の時期

平成22年4月診療分、5月診療分、6月診療分の3か月について実施する。
なお、比較検証のため平成21年4月診療分、5月診療分、6月診療分の情報もいただく。

5. 調査事項

基本情報シート及び調査票に掲げる事項

6. 調査の方法

(1) 調査票等の配布

日本医師会より直接調査客体へ郵送する。

(2) 調査票等の回収

基本情報シート及び調査票はFAXで、日本医師会が直接調査客体から回収する。

- ・基本情報シート：4月診療分と一緒に1回のみ
- ・調査票：平成22年および平成21年の4, 5, 6月診療各月分について
翌月の20日まで

7. 調査の担当

調査実務（調査の依頼・配付および回収）は、総合医療政策課が担当し、集計・分析は日医総研および保険医療課が担当する。

平成22年4月

調査客体 各位

日本医師会
会長 原 中 勝 征

「平成22年度レセプト調査」へのご協力をお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、地域医療の確保にご尽力賜り、衷心より御礼申し上げます。

さて、平成22年度の診療報酬改定は、全体で+0.19%であり、平成12年度以来のプラス改定になりました。医科は+1.74%、うち入院+3.03%、外来+0.31%でした。入院においては、「救急、産科、小児、外科等の医療の再建」、「病院勤務医の負担の軽減」を重点課題として、診療報酬の配分が行われました。外来については、病院と診療所の再診料が統一されたほか、外来管理加算の5分要件が廃止されるなどしました。

このような診療報酬改定が、医療再生、医業経営に与える影響を把握するため、日本医師会では、「平成22年度レセプト調査」を実施することにいたしました。調査内容は、診療報酬改定前後のレセプト情報（件数、日数、点数）などです。調査客体は、日本医師会A1会員のうち、病院・診療所それぞれ都道府県ごとに1/20、無作為抽出をしております。

診療報酬改定後のお忙しいさなか誠に恐縮ですが、本調査を通じて、次回改定にむけての重点取り組み課題を浮び上がらせることができればと考えております。なにとぞ趣旨をご理解たまわり、ご協力下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 白

平成22年4月

日本医師会 平成22年度レセプト調査
ご記入およびご返送にあたってのお願い

1. 調査票の構成およびご返送期限等

(1) 調査票の種類およびご返送期限

調査票	ご返送期限
☐ 基本情報シート	5月20日（木）
☐ レセプト調査票 昨年4月分	
☐ レセプト調査票 本年4月分	
☐ レセプト調査票 昨年5月分	6月20日（日）
☐ レセプト調査票 本年5月分	
☐ レセプト調査票 昨年6月分	7月20日（火）
☐ レセプト調査票 本年6月分	

(2) ご返送方法および送付先

FAXでご返送下さい。

ご返送先FAX：03－3942－6507

(3) 日医標準レセプトソフトユーザーの先生へ

日医標準レセプトソフトからアウトプットできる調査票を準備中ですので、添付の調査票によるご回答は不要です。詳しくは、5月7日頃、ご連絡いたします。

2. 記入上のお願い

(全般的なお願い事項)

- ・黒ボールペン等ではっきりとご記入下さい。色が薄い場合は読みとれません。
- ・「医療機関コード」「都道府県コード」は、基本情報シートおよび調査票すべてにご記入下さい。
- ・複数の医療機関を開設されている場合には、それぞれの施設についてご回答をお願いします。お手数ですが調査票はコピーしてご使用下さい。

(レセプト調査票についての注意)

- ・診療報酬請求書等の原票そのものの送付はご遠慮下さい。
- ・空欄がある調査票は集計対象になりません。請求のないものは「0(ゼロ)」、不明の場合は「x(バツ)」をご記入下さい。
- ・調査票は、診療報酬請求書等をもとに、「入院」「入院外」別、「一般」「後期高齢者」別にご記入下さい。

3. 個人情報保護について

お送りいただいた情報は統計的に処理いたします。個々の医療機関名、個別のデータを公表することは一切ございません。また、データの取扱いについては万全を期します。

なお、調査票の記載内容について、担当者から集計上のお問い合わせをさせていただく場合がございますので、ご承知置きください。上記以外にご不明な点がありましたら、下記担当あて遠慮なくご連絡ください。

お問い合わせ先：日本医師会 総合医療政策課

調査専用TEL：03-3942-6504

調査専用FAX：03-3942-6507

調査専用メールアドレス：

※日レセユーザーの先生方も、お問い合わせはこちらのあて先にお問い合わせいたします。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 基本情報シート（診療所）1/2

2010年4月

社団法人 日本医師会

この基本情報シートは4月調査票と一緒にご返送下さい。

日本医師会 総合医療政策課

FAX 03-3942-6507 / TEL 03-3942-6504

貴施設名、ご連絡先をご記入ください。

※ 調査内容についてお問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することは絶対にいたしません。

施設名	※ゴム印の押印でも結構です。				
医療機関コード					
ご連絡先	ご担当部署： (ふりがな) ご担当者名： 電話番号またはメールアドレス：				

平成22年4月の状況について、該当のものを○で囲むか、ご記入下さい。

(1) 所在地	都・道・府・県	市・郡・区	区・町・村						
	都道府県コード	添付のコード表をご参照下さい							
(2) 開設者	1 国 2 都道府県 3 市町村 4 地方独立行政法人 5 公的医療機関(日赤・済生会・北海道社会事業協会・厚生連・国民健康保険団体連合会) 6 社会保険関係団体 7 公益法人 8 医療法人 9 個人 10 その他(具体的に)								
(3) 区分	1 有床診療所 2 無床診療所								
(4) 許可病床数	(有床診療所のみ) <table border="1"> <tr> <td>病床数</td> <td>うち、医療療養病床</td> <td>うち、介護療養病床</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> </tr> </table>			病床数	うち、医療療養病床	うち、介護療養病床	床	床	床
病床数	うち、医療療養病床	うち、介護療養病床							
床	床	床							
(5) 処方区分	昨年(平成21年4月) 1 主として院内処方 2 主として院外処方 今年(平成22年4月) 1 主として院内処方 2 主として院外処方								
(6) 診療科目	保険診療報酬請求のもっとも大きい診療科を「1つだけ」選んで下さい。 1 内科 2 小児科 3 精神科 4 外科 5 整形外科 6 皮膚科 7 婦人科 8 産科・産婦人科 9 眼科 10 耳鼻咽喉科 11 泌尿器科 12 脳神経外科 13 血液透析科 14 その他(具体的に)								
(7) 人工透析	1 実施している 2 実施していない								
(8) 在宅療養 支援診療所	1 届出あり 2 届出なし								

つづいて、2頁目もご回答ください。

基本情報シート（診療所）2/2

後期高齢者診療料について

平成22年度改定によって廃止された項目ですが、今後の参考にいたしたく思いますので、該当のものを○で囲むか、ご記入下さい。

(1)平成20年度・21年度に後期高齢者診療料の届出をされましたか。	
1	はい → (2)へお進みください。
2	いいえ → 終了です。ありがとうございました。
(2)届出された方にお尋ねします。 平成20年度・21年度に後期高齢者診療料を算定されましたか。	
1	算定した(一度でも算定した場合を含む) → (3)へお進みください。
2	算定しなかった → (4)へお進みください。
(3)算定された方にお伺いします。 今回の診療報酬改定で後期高齢者診療料は廃止されましたが、どのようにお考えでしょうか。	
1	廃止に賛成
2	廃止に反対
2-1	同じ形で復活すべき
2-2	修正して復活すべき
3	どちらでもない
(4)算定をされなかった方にお伺いします。 算定をされなかった理由を選択してください(複数回答可)。	
1	包括払いに反対であるため。
2	年齢で区分することに反対であったため。
3	登録医制につながると考えたため。
4	算定対象患者がいなかったため。
5	算定要件を満たさなかったため。
6	算定の必要性を感じなかったため。
7	算定要件がわかりにくかったため(当該患者に主病である慢性疾患の診療を行った保険医療機関しか算定できないなど)。
8	算定要件上、近隣の他の医療機関に配慮したため(当院が算定すると、他の医療機関で算定できない要件であったため)。
9	患者さんに、どのような報酬が説明しづらかったため。
10	その他

【別紙】 日医レセプト調査用 都道府県コード番号対応表

都道府県名			コード番号
北海道			01
青森			02
岩手			03
宮城			04
秋田			05
山形			06
福島			07
茨城			08
栃木			09
群馬			10
埼玉			11
千葉			12
東京			13
神奈川	奈		14
新潟			15
富山			16
石川			17
福井			18
山梨			19
長野			20
岐阜			21
静岡			22
愛知			23
三重			24
滋賀			25
京都			26
大阪			27
兵庫			28
奈良			29
和歌山	歌		30
鳥取			31
島根			32
岡山			33
広島			34
山形			35
徳島			36
香川			37
徳島			36
香川			37
愛媛			38
高知			39
福岡			40
佐賀			41
長崎			42
熊本			43
大分			44
宮崎			45
鹿児島	児		46
沖縄			47

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

都道府県コード:

昨年（平成21年）4月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職者の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX 03-3942-6507 / TEL 03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

本年（平成22年）4月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

2-2. 入院外

(1)および(2)は、届出および算定の有無をチェック(✓)して下さい。(3)はご記入下さい。

(1) 地域医療貢献加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(2) 明細書発行等体制加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(3) 明細書の発行を希望されなかった患者の割合 約_____割

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX 03-3942-6507 / TEL 03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

昨年（平成21年）5月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲 《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

都道府県コード:

本年（平成22年）5月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

2-2. 入院外

(1)および(2)は、届出および算定の有無をチェック(✓)して下さい。(3)はご記入下さい。

(1) 地域医療貢献加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(2) 明細書発行等体制加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(3) 明細書の発行を希望されなかった患者の割合 約_____割

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

昨年（平成21年）6月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲 《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（診療所）

総合医療政策課 FAX 03-3942-6507 / TEL 03-3942-6504

医療機関コード:

都道府県コード:

本年（平成22年）6月診療分【診療所】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2. 入院外

	件数	日数	点数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

2-2. 入院外

(1)および(2)は、届出および算定の有無をチェック(✓)して下さい。(3)はご記入下さい。

(1) 地域医療貢献加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(2) 明細書発行等体制加算 届出 ☐ あり ☐ なし → 今後の届出予定 ☐ あり ☐ なし
算定 ☐ あり ☐ なし

(3) 明細書の発行を希望されなかった患者の割合 約 _____ 割

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 基本情報シート（病 院）1/2

2010年4月

社団法人 日本医師会

この基本情報シートは4月調査票と一緒にご返送下さい。

日本医師会 総合医療政策課

FAX 03-3942-6507 / TEL 03-3942-6504

貴施設名、ご連絡先をご記入ください。

※ 調査内容についてお問い合わせをさせて頂く場合のみ使用します。施設名も含めて、固有名詞を特定できる形で公表することは絶対にいたしません。

施設名	※ゴム印の押印でも結構です。								
医療機関コード	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>								
ご連絡先	ご担当部署： (ふりがな) ご担当者名： 電話番号またはメールアドレス：								

平成22年4月の状況について、該当のものを○で囲むか、ご記入下さい。

(1) 所在地	都・道・府・県 市・郡・区 区・町・村 都道府県コード <table border="1"><tr><td></td><td></td></tr></table> 添付のコード表をご参照下さい												
(2) 開設者	1 国 2 都道府県 3 市町村 4 地方独立行政法人 5 公的医療機関(日赤・済生会・北海道社会事業協会・厚生連・国民健康保険団体連合会) 6 社会保険関係団体 7 公益法人 8 医療法人 9 個人 10 その他(具体的に _____)												
(3) 区分	1 精神科病院 2 結核療養所 3 一般病院												
(4) 許可病床数	<table border="1"> <tr> <td>精神病床</td> <td>感染症病床</td> <td>結核病床</td> <td>療養病床</td> <td>一般病床</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> <td>床</td> </tr> </table> (うち介護療養病床 _____ 床)	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計	床	床	床	床	床	床
精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計								
床	床	床	床	床	床								
(5) DPC	DPCによる支払対象病院ですか？ 1 はい (平成 _____ 年度DPC支払対象病院) 2 いいえ												
(6) 在宅療養 支援病院	1 届出あり 2 届出なし												
(7) 地域医療 支援病院	1 届出あり 2 届出なし												

つづいて、2頁目もご回答ください。

基本情報シート（病 院）2/2

後期高齢者診療料について

平成22年度改定によって廃止された項目ですが、今後の参考にいたしたいと思いますので、該当のものを○で囲むか、ご記入下さい。

(1)平成20年度・21年度に後期高齢者診療料の届出をされましたか。

1 はい → (2)へお進みください。

2 いいえ → 終了です。ありがとうございました。

(2)届出された方にお尋ねします。

平成20年度・21年度に後期高齢者診療料を算定されましたか。

1 算定した(一度でも算定した場合を含む) → (3)へお進みください。

2 算定しなかった → (4)へお進みください。

(3)算定された方にお伺いします。

今回の診療報酬改定で後期高齢者診療料は廃止されましたが、どのようにお考えでしょうか。

1 廃止に賛成

2 廃止に反対

2-1 同じ形で復活すべき

2-2 修正して復活すべき

3 どちらでもない

(4)算定をされなかった方にお伺いします。

算定をされなかった理由を選択してください(複数回答可)。

1 包括払いに反対であるため。

2 年齢で区分することに反対であったため。

3 登録医制につながると考えたため。

4 算定対象患者がいなかったため。

5 算定要件を満たさなかったため。

6 算定の必要性を感じなかったため。

7 算定要件がわかりにくかったため(当該患者に主病である慢性疾患の診療を行った保険医療機関しか算定できないなど)。

8 算定要件上、近隣の他の医療機関に配慮したため(当院が算定すると、他の医療機関で算定できない要件であったため)。

9 患者さんに、どのような報酬が説明しづかったため。

10 その他

【別紙】日医レセプト調査用 都道府県コード番号対応表

都道府県名			コード番号
北海道			01
青森県			02
岩手県			03
宮城県			04
秋田県			05
山形県			06
福島県			07
茨城県			08
栃木県			09
群馬県			10
埼玉県			11
千葉県			12
東京都			13
神奈川県	奈	川	14
新潟県		潟	15
富山県		山	16
石川県		川	17
福井県		井	18
山梨県		梨	19
長野県		野	20
岐阜県		阜	21
静岡県		岡	22
愛知県		知	23
三重県		重	24
滋賀県		賀	25
京都府		都	26
大阪府		阪	27
兵庫県		庫	28
奈良県		良	29
和歌山県	歌	山	30
鳥取県		取	31
島根県		根	32
岡山県		山	33
広島県		島	34
山口県		口	35
徳島県		島	36
香川県		川	37
徳島県		島	36
香川県		川	37
愛媛県		媛	38
高知県		知	39
福岡県		岡	40
佐賀県		賀	41
長崎県		崎	42
熊本県		本	43
大分県		分	44
宮崎県		崎	45
鹿児島県	児	島	46
沖縄県		縄	47

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

昨年（平成21年）4月診療分【病院】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

☐7対1 ☐10対1 ☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料

☐算定していない(一般病棟なし)

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

本年（平成22年）4月診療分【病院】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

- ☐7対1 ☐7対1特別入院基本料 ☐10対1 ☐10対1特別入院基本料
☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料 ☐算定していない(一般病棟なし)

1-1. 入院再掲《点数をご記入下さい》

	栄養サポートチーム加算	呼吸ケアチーム加算
社 保 (医保単独・公費併用)	点	点
国 保 (一般・退職者計)	点	点
後期高齢者	点	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

昨年（平成21年）5月診療分【病院】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

☐7対1 ☐10対1 ☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料

☐算定していない(一般病棟なし)

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲 《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

本年（平成22年）5月診療分【病院】

1. 入院(食事療養費を除く)

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

- ☐7対1 ☐7対1特別入院基本料 ☐10対1 ☐10対1特別入院基本料
☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料 ☐算定していない(一般病棟なし)

1-1. 入院再掲《点数をご記入下さい》

	栄養サポートチーム加算	呼吸ケアチーム加算
社 保 (医保単独・公費併用)	点	点
国 保 (一般・退職者計)	点	点
後期高齢者	点	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

昨年（平成21年）6月診療分【病院】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

☐7対1 ☐10対1 ☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料

☐算定していない(一般病棟なし)

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲 《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。

つづいて本年分のご記入をお願いします

日本医師会 平成22年度レセプト調査 レセプト調査票（病院）

総合医療政策課 FAX03-3942-6507/TEL03-3942-6504

医療機関コード:

--	--	--	--	--	--	--

都道府県コード:

--	--

本年（平成22年）6月診療分【病院】

1. 入院（食事療養費を除く）

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

一般病棟入院基本料 1つだけ選んでチェック(✓)して下さい

- ☐7対1 ☐7対1特別入院基本料 ☐10対1 ☐10対1特別入院基本料
☐13対1 ☐15対1 ☐特別入院基本料 ☐算定していない(一般病棟なし)

1-1. 入院再掲《点数をご記入下さい》

	栄養サポートチーム加算	呼吸ケアチーム加算
社 保 (医保単独・公費併用)	点	点
国 保 (一般・退職者計)	点	点
後期高齢者	点	点

2. 入院外

	件 数	日 数	点 数
社 保 (医保単独・公費併用)	件	日	点
国 保 (一般・退職者計)	件	日	点
後期高齢者	件	日	点

2-1. 入院外再掲《回数をご記入下さい》

	再診料または外来診療料	外来管理加算
社 保 (医保単独・公費併用)	回	回
国 保 (一般・退職者計)	回	回
後期高齢者	回	回

<記入上の注意>

- 請求のないものは「0(ゼロ)」、不明は「×」をご記入下さい
- 社保分の(医保単独・公費併用)欄には、診療報酬請求書の医療保険「合計」欄に該当する数値をご記入ください(保険単独と公費併用を足し上げ)。
- 国保分(一般・退職者計)欄には、国保の一般・退職の合計(年齢、負担区分に関わらず)をご記入ください。
- 件数、日数、点数すべてを必ずご記入ください。
- 生活保護などの公費単独分は、本調査の集計には含みません。